

赤ちゃんの歯はお母さんのおなかの中で作られます

妊娠初期	乳歯の歯胚(歯の芽)は胎生7週頃からでき始めます。
妊娠中期	乳歯は4ヶ月の後半から歯胚にカルシウムやリンが沈着して石灰化(硬くなる作業)が始まります。永久歯の歯胚は4～5ヶ月頃からでき始めます。
妊娠後期	乳歯の頭の部分(歯冠部)の形成が進みます。お誕生の頃より永久歯の石灰化が始まります。



妊娠中に起こりやすいお口の変化

妊娠中は女性ホルモンの急激な増加や食事回数の増加、唾液量の減少などにより、むし歯や歯周病が発生・進行しやすくなります。



歯周病に要注意！！

歯周病は早産や低体重児出産などの引き金になることがあります。自分の健康だけでなく、生まれてくる赤ちゃんのためにもお口の健康に気をつけましょう。

歯周病は全身に影響します！

歯周病 チェック

- 歯みがきの時に出血がみられる
- 歯肉が赤くはれてプヨプヨしている
- 口臭が気になる
- お口の中がネバネバする

チェックがいたら要注意！

早産
低体重児出産

糖尿病

心疾患

肺炎

歯周病菌が血管の中に入ると
様々な病気の要因となります

フロス・歯間ブラシ

歯ブラシでは取りきれない歯と歯の間の汚れは、フロス(糸ようじ)や歯間ブラシを使いましょう。



かかりつけ歯科医を持ちましょう

歯科医院で正しい歯みがきの指導を受けて、定期的に歯石除去やお口のクリーニングをすることで、歯周病やむし歯を予防しましょう。



妊娠中のたばこは控えましょう

喫煙は歯周病を悪化させる因子であり、また早産・流産・低体重児出産のリスクを高めます。ご自身の禁煙はもちろんのこと、ご家族にも協力してもらい、受動喫煙も避けるようにしましょう。

詳しく保健相談所の両親学級でお話します。日程をご確認の上、ぜひご利用ください。